

## 「ヘリコバクター・ピロリ検査」慢性胃炎保険適用拡大のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

「『ヘリコバクター・ピロリ感染の診断及び治療に関する取扱いについて』の一部改正について」（保医発 0221 第 31 号、平成 25 年 2 月 21 日）により胃がんの原因となるピロリ菌を取り除く「除菌」における健康保険の適用範囲が慢性胃炎にも拡大されました。

ピロリ菌は胃の粘膜に炎症などを引き起こす細菌で、50 歳以上の日本人の 45%前後が感染しているとされ、さまざまな研究で胃がんの原因となることが明らかにされてきました。こうしたことから、これまでの胃潰瘍や十二指腸潰瘍などに加え、慢性胃炎の治療にも拡大することが認められました。胃がんの予防にもつながると期待されています。

つきましては、弊社の受託可能なヘリコバクター・ピロリ検査をご案内いたします。

謹白

記

### 検査方法

項目 コード	検査 項目名	材料	所要 日数	特徴	実施料 判断料	検査の有効性		最終 委託先
						感染 診断	除菌 判定	
2132	尿素呼気 試験	呼気 パック	2~3	診断薬を服用し、服用前後の呼気を集めて検査します。もっとも精度の高い検査方法です。比較的、簡単に行える方法で、感染診断前と除菌療法後 4 週以降の除菌判定検査に推奨されています。	70 微生	○	○	弊社
1645	抗ヘリコバク ター・ピロリ IGG 抗体	血清	3~5	人はピロリに感染すると抵抗力として菌に対する抗体をつくります。血液中に存在する抗体の有無を調べます。	80 免疫	○	×	三菱 化学
2626	便中 H.ピ ロリ抗原	便	3~5	便中のピロリ菌の有無を調べる方法です。	150 免疫	○	○	SRL
1862	ヘリコバク ター ピロリ培養	組織	5~7	内視鏡において採取した胃粘膜をすりつぶし、ピロリ菌の発育環境下で培養いたします。	160 微生	○	△	弊社